

平成30年度情報化促進貢献個人等表彰 受賞者一覧 (50音順)

個人4件

氏名	役職	業績
しょうやま 神山 充雅	株式会社愛媛CATV 取締役会長	松山市eまちづくり戦略に沿い、超高速大容量地域専用線ネットワーク（松山BB）、地上波放送局とのシェアネットワークの構築・運用を実現し、全国でも稀有な「インターネットに依存しない地域ネットワーク」により地域の情報通信の活性化を促した。また、国内三大セキュリティシンポジウムの一つである「サイバーセキュリティシンポジウム道後」の立ち上げ時から運営を担い、産官学連携のもとでサイバーセキュリティ対策の啓蒙やセキュリティ技術者の育成に貢献した。
はせがわ 長谷川 博和	早稲田大学商学大学院 大学院経営管理研究科 教授	総務省「ICT分野における技術戦略検討会」の座長として、技術戦略や研究開発・社会実装推進方策の在り方の議論・取りまとめに尽力した。また、ICT分野におけるベンチャー企業支援において、専門家として総務省施策へ寄与するなど、先進技術や利活用サービスの商用化促進に貢献した。
むらばやし 村林 聡	三菱UFJリサーチ& コンサルティング株式 会社代表取締役社長	総務省「政府情報システム改革検討会」の構成員として、現在の政府情報システムの改革につながる検討会提言の取りまとめに多大な貢献をした。また、IT総合戦略本部「新戦略推進専門調査会・電子行政分科会」の構成員として、累次の電子行政に関する戦略の企画立案や政府情報システム改革の取組状況に対し助言・提案を行い、電子行政の推進に貢献した。
やまざわ 山澤 浩幸	新潟県三条市総務部 情報管理課長	新潟県の5団体において、人口規模の差が大きい中、団体間の業務の標準化を行うなど過去に例のない自治体クラウド導入を主導するとともに、自治体クラウド導入の先進事例として全国各地で講演を行い、システム共同化のメリットや課題・対応策等を周知するなど、自治体クラウド推進に貢献した。

企業1件

団体名	代表者	功 績
迷惑メール 対策推進協議会	座長 新美 育文 <small>にいみ いくふみ</small>	「迷惑メール対策ハンドブック」や「送信ドメイン認証技術導入マニュアル」の発行等により、一般のリテラシー向上や迷惑メール対策技術の導入促進にこれまで10年に渡り貢献してきた。また、我が国で開催された迷惑メール対策国際会議を支援するため、協議会の下に同会議準備委員会を設置し、我が国の迷惑メール対策の取組の諸外国への情報発信や同会議の成功に尽力した。